
魔王幼女 宮之ゆず 設定資料集

遍駆羽御

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔王幼女 宮之ゆず 設定資料集

【Nコード】

N7282X

【作者名】

遍駆羽御

【あらすじ】

ゆず「小波！ このマシユマロ、美味しく焼けているのだ！ 食べてみる」

小波「お兄ちゃんと交換って条件なら食べてあげようかなん。くふっ」

ゆず「……せつかく、魔王自ら、焼いてやったマシユマロを食べな

いなんて、小波、ゆっちゃんの世界だったら、お前は死刑だ！」

小波「何よ、その自分が「ゆっちゃんは法律だ！」みたいな態度、ちょー感じ悪いんですけどぉー」

絢「あの一、お二人さん」

ゆず「なんなのだ！ 絢ちゃん」

絢「もう、設定資料の説明会、始まってますよぉー」

絢「あー、お二人さん。お二人さん、あー喧嘩しちゃいました。なんでこの二

魔王少女 宮之ゆず あらすじ

平凡な？ いや、平凡以下の男子？ いやおにやのこにしか見えません——衣螺^{いらあや}絢はバイト帰りに小学生の声を聞き、ベビーシッターというバイトの性質上、無視できずにその声の元へ。

そこで出会ったのは黒い修道服を着た可哀想に痩せ細った宮之^{くの}ゆずでした。

そのゆずは子猫達と一緒に肉屋 しゅーぺると♪ の生ゴミ箱から食べ物^{食べ物}を勝手に失敬していました。

ですが……それを人間が食するとお腹が痛い、痛いになる可能性が……。

絢はそれを阻止した。

ゆず「ゆっちゃんの食事を邪魔するとはお前、何様？」

絢「先読み高校に入学予定のしがない衣螺^{いらあや}絢ですよ」

食べ物をいっぱい食べさせてあげると、まるでPTAに怒られる変態みたいな台詞でゆずをバイト先の託児所 友達100人できるかな？ を切り盛りする古瀬^{こせ}津波^{つなみ}の所へと連れて行きました。

津波の作った御飯を食べながら、宮之ゆずは自分は魔界から来た魔王だ！ と告げました。

ですが、もう、自分の世界の人々は勇者が指揮する軍勢に滅ぼされ、自分は独りだと語ります。そして、誰もこの異世界にはやって来れないと。

そんなゆずと暮らすことにした衣螺^{いらあや}絢。

こうして魔王な幼女と、おんにゃのこな高校生が一つ屋根の下で暮らすことになりました、とさ。

だが……世界は彼女に試練を与える。

天涯孤独の少年と幼女が出逢った瞬間、定められた運命は静かに動き出す……。

——思い出が人を強くする。

ゆっちゃん「小波！ ゆっちゃんのリボンを返せ！ この泥棒猫」↑魔王幼女

宮之ゆず（くの ゆず）

「無礼者！ ゆっちゃんは魔王様に決まっているだろう。どいつもこいつも、ゆっちゃんを自称魔王にしたがるんだ。お前もそんな輩か」

どう見ても、ようじよにしか見えぬ魔王様。

魔王様なのに弱い者には強い態度に出るが……強い者には弱気な態度に出る子。

身体能力は普通の小学生。トゥリングを発動することにより、やつと、モンスターと闘えるレベル。はつきり、言つと一般人の衣螺綯より弱いかもしれない……。

頭脳の方は高校生レベル。だが、感情的な子なのでそうとは思えないバカぶりを発揮する。

5

総合的に見ると、これがヒロインであり、魔王であるのは……どうだろうか？ と思うほど、役割違いな子。

故郷である調整世界は勇者によって死体の山（その中にはゆずのマとパパも含む）と化している。

その為、勇者との関係はもう、殺すか？ 殺されるか？ の二択しかない。

年齢

8歳 誕生日 11月1日

身長

115cm↑人間の攻撃で調整世界の作物や人口が激減した為、ま

ともな食事にありつけないことや、精神的な恐怖（自分や家族、友人が殺される未来に）が成長を阻害した。

性別

ようじょ

住所

衣螺絢と同棲中！！

容姿

髪：翡翠に輝く髪。ボブカットに、小さなツインテールで、ツインテールの片方をドリルにした髪型。ドリルにしてない方は子猫の縫いぐるみ付属の黒いリボン、ドリルの方は普通の黒いリボンで結わえてある。

目：薄い茶色。二重まぶたに吊り目。鋭さがある。

服装：ゴスロリ系の服に、現在パンツ（シナリオ？の時点では……）穿いていない。

小物

両足全てにトゥリングをはめている。それぞれに特殊な効果がある。

1、戦士のリングと呼ばれるリングは戦闘時に腕力を通常の二乗化する。中央は剣の形をしている。

2、奏者のリングと呼ばれるリングは戦闘時に聴覚を通常の二乗化する。中央は音符。

3、千里のリングと呼ばれるリングは戦闘時に視覚を通常の二倍化する。中央は地図。

4、ベーシックリングと呼ばれるリングは戦闘時に空気・火・土・

水の四大元素の攻撃による被害を半分にする。中央は杖。

5、エーテルリングと呼ばれるリングは戦闘時にエーテル——五番目の要素の攻撃による被害を半分にする。中央は光。

6、守りのリングと呼ばれるリングは戦闘時に軽い身体的ダメージを1分で治癒させる。ただし、痛みは消せない。中央は盾。

7、禁断のリングと呼ばれるリングは戦闘時に闇系統の魔法の攻撃を二倍化する。また、闇系統の物理攻撃も同様に。中央は鎌。

8、生命のリングと呼ばれるリングは1日に一度だけ、生き返ることができる。中央は天使の羽根。

9、運命のリングと呼ばれるリングは自分の完全運命共同体を検索できる。中央は矢。

10、風のリングと呼ばれるリングは戦闘時に通常よりも二倍速度を高められる。中央は竜巻。

ロケット。ロケットの中には、母の写真と一緒に小さな杖が入っている。そのミニチュアな杖はゆずが掌に載せると——在りし日の姿に戻る。

杖。杖の名前は闇打つ鼓動。闇系統を増幅させ、光系統の魔法は半減する。木の棒に宝石が鑲められた実にシンプルな杖。使用者が解放した想いの強さに合わせて、変化していく。

ラノベ的な能力

記憶呼応魔法、治癒魔法（自分の自然治癒能力を操作する）、翻訳魔法（自分の知識内にある言葉进行操作することが可能）

完全同調により、魔法の才能が目覚めていく。

絢「喧嘩は駄目です。喧嘩ばかりしていますと、もう、お二人のお勉強を教えた

いらあや
衣螺絢

「ゆずは魔王様です。それは逃れられない……。ただどね、どんな魔王様になるかは自分の意志100パーセントで決められるはずだ。いや、決めるんです!」

魔王なようじよ ゆずちゃん（八歳）の完全同位体。

一般人だが、なかなかヘビーな人生を送っている。女優業をしている母親は幼い頃、家を出てしまい連絡とれず。映画監督として日本で有名だった父親は絢が中学一年の頃、事故で死亡。

ゆずに多くの助言を与えたり、甘やかすお兄ちゃんな役割。物語が進むにつれて、ゆずとの絆を深めて一般人の枠から突出していく……。

年齢

15歳 誕生日 6月6日

身長

156cm（女子よりも身長が低い）

性別

男

住所

金意市 ^{かねいし}メゾンNOZUTUKI↑オシャレな名前なのに築30年の木造のアパート。今にも崩れそうな佇まい。実際、隣の部屋の生

活音が聞こえる。たまに大人な会話も聞こえてくる。 w

容姿

よく、女性に間違えられるくらい、優しい雰囲気と、細身の身体を持っている。筋肉質ではない。本人曰く、筋肉が自分を拒否しているらしい。

髪：両サイドが跳ねている。癖毛のため、本人は気にして直そうとするが、数分後には元に戻っている。後ろ髪は鎖骨まで伸びている。

目：蒼い瞳（綺麗な瞳と言われることに本人は誇りを持っている）

服装：学校は私服なのだが、ネクタイを軽めに締めて、ワイシャツとジーパンというやや硬くもあり、柔らかくもある中間的な服装。お金節約のため、服は同じような二種類しかない。

靴：近くの量販店で買った安物の1000円のスニーカー。

小物：龍の形に彫られたルビーのブローチ。正式名称は——覇者の証↑実は調整世界の大魔王継承者の証。女優である母の家に伝わる家宝。

ラノベ的な能力

特になし。

魔法をゆずから教えてもらうが——才能がないらしい。

小波「ち、違います、お兄ちゃん。ゆずちゃんとはこーんなに仲良しです」

こせつなみ
古瀬津波

「人生つてのはねん、いつでも逆転できるのよ。知ってた？ 絢君。だから負けちゃだめだぞ。私、負けない子が好きなのよ。最後まで一分、一秒を惜しまずに馬鹿正直にシユートを打ち続ける子……がね。ゆずちゃんと音さん、多分、どちらも正しいんだと思う。だからこそ、君はドリブルできない。でもさ、君はゆずちゃんチームでしょ？ だからゆずちゃんが逆転できるようにアシストしてあげなきゃ。はい、のど飴。ゆずちゃんに本当のことが言えるように。ねん？」

衣螺絢のバイト先【友達100人できるかな？】の経営者。
優しい性格で、あまり、深く考えない人物。

そのため、恨みを買われることは皆無で、近所の人との関係も良好！！

まさに頼れるお姉さん。

魔王少女である宮之ゆずも彼女を一目おいているっぽい。

また、影でゆず達の知らない物語の暗部まで知る【魔王少女 宮之ゆず】の重要人物。

彼女の動向は如何に。

年齢

30歳 誕生日 9月25日

身長

160cm

カップ

B

性別

女

住所

託児所 友達100人できるかな?の三階

容姿

髪:オールバックで、後ろ髪をゴムで左右に結う。

目:のほほんとした優しい感じの目。一重瞼。

服装:タートルネックのTシャツにジーパン。さらに汚れないように、と、エプロンを装着。日によって絵柄が違う。

靴:バッシュ↑プロバスケ選手だった頃の名残。

小物:エプロンのポケットの中にお菓子が大量に入っている。↑子どもをあやすための最終兵器。

社会的地位

託児所 友達100人できるかな?の経営者かつ、ベビーシッター。
I。

大魔王を影から見守る家系。

ラノベ的な能力

今は?????ということで。

シナリオ?をみるかぎりでは・・・・・・何か、ありそう。

ゆず「じ、くら、抱きつくな。すとーかー臭が付くではないか！」

↑ 古瀬小波の

こせいなみ
古瀬小波

「やーたあん！ このマスはお兄ちゃんが可愛い、可愛い小波さんを抱っこできるけんり？ が手に入るんだよ。ねっ、波夜？」

大好きなお兄ちゃんこと、衣螺絢に女！！（魔王様こと、宮之ゆずのことです）と危機感を露わにしている恋する女の子 小波ん。
絢のバイト先の娘さんというポジション。本人的には恋人という位置に行きたいらしい。

自分と絢の子を想像し、波夜なみよと、仮想子どもに名付ける。そんなことをするくらい、絢のことが大好き。

そんな想いもあつてか、早くもゆずをライバル視。
ゆずも小波をライバル視している。

年齢

8歳 誕生日 1月1日

身長

129cm

カップ

性別
女

住所

託児所 友達100人できるかな?の三階

容姿

髪：ショートカット

目：くりくりとしていて可愛い瞳。二重瞼。

服装：チョッキに、ワイシャツ。ネクタイは締めていない。紺色のスカート。

靴：サイハイブーツ（太腿辺りまでのブーツのこと）。

小物：麦わら帽子。水筒。

社会的地位

小学三年生

自称魔法少女

ラノベ的な能力

小波んの能力は本編で。

とにかく、小波らしい戦闘スタイルです。

小波「失礼ね。 あれは、マーキングよ」 ↑ 兆詩音の人物紹介へ。

兆詩音 きさし おと

「おい、バナナをバカにするな。 あいつはミネラルが多く含まれて
いるし、ダイエットにだって良いんだぞ」

神の調べ ルプテンの予言により、勇者として魔王を打つ宗教的な
勇者。

たった一人で魔法を使える者を一人程、屠る絶対的な強さを持つ
ており、現状（シナリオ??時点）では……魔王 宮之ゆ
ずが勝利する（可能性）には、天永無想とラグナロクフィールド装
備のバベルシステムしかない。

勇者として非道な振る舞いをするが……現在では異世界で兆
詩桜魔と音楽をすることによって、その偽りの鎧は脱げている。

心が癒えた勇者と、甘える存在にまた出会えた魔王。

彼らは再び、対峙することになる。

勇者は魔王を卑怯に殺す方法なんていう冗談を桜魔に言っているが・
……真相は。

年齢

17歳 誕生日 9月20日

身長

167cm

カップ

E

性別
女

住所

優雅世界 永月の塔

テント生活だったり、草の上だったり、ホテルだったりするその日の桜魔の気分によって違う。

容姿

髪：金色に輝く髪（本当に輝いているため、長い間、その髪を直視できない。光量が強すぎる）。前髪を揃えて、もみあげは鎖骨につくか、つかないか辺りに揃え、後ろ髪は太腿まで伸びている姫カット。

目：血のように深い赤い虹彩。

服装：オレンジ色のニット帽。↑何やら、特別なモノのよう。

レースグラブ↑黒を基調としていて、袖にレースが付いている。

ロングコート↑黒

ロングコートの下には下着以外、何も着用していない。戦闘中、ちらつとお臍が見えることもある。

鞘↑背中に背負っている。革ベルトで止めている。もう一つ鞘をベルトで腰の辺りに固定している。

靴：ロングブーツ。

小物：――

武器：聖剣 アキシオン↑剣先がなく、心の清い者にしかその剣先

は見えない。魔王には到底、見えるはずもなく、効果は絶大。ターニングポイントにも死を与える剣であり、使用者の肉体疲労をほぼ、皆無にする伝説の剣。
また、重さがないかのように軽い。

人気メーカー シェパードのレザーブレイド 牙↑聖剣が使えない時はこちらで闘う。

社会的地位

勇者

KIZASHIのボーカリスト↑旅先で路線を稼ぐため。路上でライブしている。それが芸能界に止まり、いくところ、大盛況。

ラノベ的な能力

遺伝子操作によって、一般女性の四倍以上の身体能力を引き出せる。それを自由に操れる。

聖剣技↑先手必勝の一撃必殺が目立つ我流。聖剣に眠る勇者の力と光を剣技と合わせた技。

ゆず「科目にストーカーがあつたら、小波んは100点満点である」↑ヘア

ベアトリーチエ

「揚羽、僕は高みから見物する愚か者を許せない。だから、一緒に闘ってくれる?」

ベアトリーチエ。栄華世界を創造した人物。

エラーマスター達の考えとは離反し、エラーマスターと同じ存在――????でありながら、世界の敵として全ての世界を脅かす存在の側に立つ人物。

年齢 14歳(?????回目の世界を越えたベアトリーチエ) 誕生日 ??????

身長

110cm

カップ

AA

性別

女

住所

栄華世界の上空にそびえる選定の地

容姿

髪：灰色の髪。

髪型はおかつぱ頭。

目：兎目のように真っ赤な虹彩。

袖がないジャンパースカートを着ている。ジャンパースカートはフード付きでフードを常に被っている。

ジャンパースカート：黒と白のチェック柄に、背には赤いリボンが縫いつけられている。フードの周囲にはピンク色のプリーツフリルが付いている。

オーバーニーソックス：白い薔薇模様が幾多、ある。

靴：革のレースアップブーツ。

小物：白い子猫の縫いぐるみ（手錠によりベアと繋がれている）。

武器：理剣 永劫、神剣 ベアトリーチェ、五大元素のトリガー、闇のトリガー、ウェポン オブ ワールド

社会的地位

理の解放者

ラノベ的な能力

理の解放

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7282x/>

魔王幼女 宮之ゆず 設定資料集

2011年11月12日14時22分発行